



富山市立奥田北小学校

ひ
向

ま
日

り
葵

令和7年度
学校だより

9月号



学校 HP
QR コード

「上手に挨拶ができる 奥田北っ子に」

校長 高地 修

私の一日は、毎朝、児童玄関で、奥田北っ子を迎えることから始まります。一人一人の表情を見ながら挨拶をしています。1学期には、旅行へ行った話をしにくる子供、クイズを出してくる子供、手作りアクセサリを見せてくれる子供等があり、会話に繋がったことが何度もありました。2学期始業式の朝には、「夏休みの宿題、昨日終わったんです」と言ってきた子供と一緒に両手を広げ、「セーフ」と言って喜んだこともありました。

挨拶を交わすことで気持ちが明るくなりますし、コミュニケーションのきっかけにもなります。挨拶には不思議な力があります。

4月から、子供たちは、ひまわり委員会の活動で、挨拶運動を展開しています。また、6月から、担任は、子供たちに挨拶を励行するように話をしています。その成果は表れつつあり喜ばしいのですが、私には、気にかかることがあります。それは、挨拶をしない子供が少なからずいることです。その子供たちの将来がとても心配になります。



【挨拶運動の様子】

そこで、2学期の始業式に、次のような話をしました。

挨拶は、周りの人の気持ちを明るくします。挨拶をした人も気持ちが明るくなります。挨拶をすれば、相手と気持ちが繋がります。

朝は、「おはようございます」と、先生、お友達、地域の方々に、明るく挨拶をしましょう。

お世話になったときには、「ありがとう」とお礼を言いましょう。

また、挨拶と同時に、「ぺこり」と、会釈、お辞儀をすると、相手によく伝わります。

子供のときから挨拶を上手にできるようになれば、大人になったら当たり前前になれるようになります。皆さんが社会に出て、仕事を始めたら、挨拶の大切さがとてもよく分かると思います。今のうちから、挨拶を頑張りましょう。



挨拶は、社会では基本的なルール・マナーです。挨拶のできない人は、コミュニケーションをうまくとれず、人間関係がぎくしゃくして、職場において仕事がスムーズに進まないことがあるようです。多くの企業や官公庁等では、礼儀や挨拶、電話対応等の接遇研修もしています。

小学校は、教科のみならず、社会生活を営む上で大切なことも学ぶところだと思えます。挨拶の大切さを教えることで、奥田北っ子全員が、「おはようございます」「おねがいします」「ありがとうございました」等、心のこもった挨拶（相手に伝わる挨拶）を交わせる人になり、社会で大いに活躍してほしいと願っています。

また、挨拶する際には、「ぺこり（会釈・お辞儀）」を推奨しています。「ぺこり（会釈・お辞儀）」は、声が小さい・恥ずかしがりやの子供もやりやすく、遠くにいる相手にも気持ちが伝わります。丁寧さや誠意を表すこともできます。

保護者の皆様、地域の皆様、上手に挨拶のできる奥田北っ子の育成に、ご支援・ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。ぺこり（お辞儀）。